

## 中学生が未来へのメッセージを書きました

神丘中学校(名古屋市立)の3年生が“未来の中学生へのメッセージ”を書きました。『現代に生きる私たちは、22世紀の中学生にどのようなメッセージが贈れるだろう?』という課題に答えて2023年7月にまとめたものです。

9月にピースあいちに届いた165人のメッセージには、未来への思いや希望がつまっています。2023年を生きる中学生一人一人が戦争や気候変動、差別など現代社会や歴史を見つめ、考えています。それぞれに返事を書いていると、他の中学生や地域の大人の方々とも、このメッセージを共有したいと思いました。

神丘中学校3年生のみなさんと先生方のご協力を得て、ここに展示いたします。中学生のメッセージとピースあいちボランティアの返答を合わせてお読みいただければ幸いです。

2024年1月

戦争と平和の資料館 ピースあいち

## 開催にあたって

歴史学習の集大成として取り組んだ成果を展示していただく貴重な機会をいただき、感謝しています。授業では、『日本は本当に平和な国となったのだろうか』という学習課題を設定し、戦後日本の歴史を世界の流れと関連付けながら学習を進めてきました。学習を進める中で、「子どもたちの『考えや思い』を地域の方にも見てもらいたい」という思いを強め、ピースあいちの職員の方にご協力いただき、子どもたちが学習のまとめとして取り組んだ「未来の中学生へのメッセージ」に目を通していただきました。

平和を願いながらも、世界に目を向けてみると、戦争は絶えず、人種や国を起因とする差別が多く存在します。このような状況を踏まえて、平和の有難さや明るい未来に思いを馳せながら子どもたちが懸命に作成したメッセージを、ご来館された方にもご一読いただければ幸いです。

神丘中学校 社会科教諭 西脇 佑